

2011 年度前期授業アンケートまとめ

1. 2011 年度前期授業アンケート結果の概要

1-1. 2011 年度の実施趣旨と従来との変更点

【授業アンケート実施目的】

- (1)科目担当者が、個別に授業改善を行うための資料および教育自己点検活動のための資料を得る。
- (2)教員相互に関係科目の改善について課題を共有し、改善を行う資料とする。また、アンケート結果を起点として、組織的に教育改善に取り組む機会を提供する。
- (3)授業運営の学生参画の必要性を意識し、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るための資料を得る。また、学生の積極性と責任意識を喚起する機会を提供する。
- (4)学部・学科としてのカリキュラム改善のための資料を得る。
- (5)大学全体として教育力の向上に必要な点検資料を得る。

【2011 年度変更点】

授業アンケート回答用紙の記載事項を一部削除し、アンケート処理の効率化と迅速化をはかった。

- 削除項目：学科、回生、コース・専攻、時間割コードのマーク欄

1-2. 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は 2011 年度前期および夏期・秋期集中開講、通年開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学部学生および大学院生とし、原則として特別聴講学生、科目等履修生は対象外としたが、担当教員の判断で特別聴講学生および科目等履修生のデータが一部算入されている場合がある。

1-3. 調査期間

【前期】2011 年 7 月 4 日(月)～ 7 月 29 日(金)

【夏期・秋期集中】2011 年 8 月 5 日(金)～9 月 16 日(金)

- ・アンケートは授業時間を 15 分ほど利用し、学生が選択式の回答と自由記述が可能な時間を保証した。
- ・教員が配布と説明をおこない、その時間内に回収する集合調査法を採用した。
- * 2011 年度前期の回収率は全体で 77.85%となった。

1-4. 調査設計

調査項目の基本構造については、学部・学科・回生・コースなどの基本データを削除した以外は、前年度と同じである。

- (1) 授業についての選択項目／16 項目
- (2) 授業についての自由記述／4 項目

選択項目については、マークシートを採用し、データ処理をおこなった。
自由記述は教学向上を目的に、授業担当者に返却した。

2. 2011 年度前期授業アンケート結果の特徴と傾向

2-1. 授業形態別傾向分析

2-1-1. 授業形態別集計結果 別紙資料:P1~4

《全体概要》講義・語学の平均がやや上昇したことにより、全体の評価もやや上昇

【全体】(総合平均/4.09P) * 前年度より **0.02P 上昇**(前年度 4.07P)

2P~5P まで広く分布。前年度同期に比べて3P 未満の数が減少した。

全項目のポイントが総じて上昇

【講義】(総合平均/3.96P) * 前年度より **0.05P 上昇**(前年度 3.91P)

2P~5P まで幅広く分布。3P未満の割合は他形態より多いものの、3.5P以上の割合が9割。

ほぼ全項目のポイントが微増

【演習】(総合平均/4.27P) * 前年度より **0.03P 低下**(前年度 4.30P)

3P未満の数が減少。4.0P 以上の割合が増加し、8割以上と高い傾向。

「授業外学習」以外の全項目のポイントが僅かに低下。

【語学】(総合平均/4.18P) * 前年度より **0.01P 上昇**(前年度 4.17P)

前年度同期にあった3P 未満がなくなった。4.0P 以上が約7割。全項目のポイントが上昇

【実習・実技】(総合平均/4.45P) * 前年度より **0.01P 低下**(前年度 4.46P)

サンプル数が少ないが、ほとんどが 4.0P以上に分布。

「自主学习」以外の全項目でわずかに上昇

2-1-2. 学科・授業形態別「総合」の分布 別紙資料:P1、P5~9

《全体概要》学科・授業形態ごとに分布の仕方はさまざまだが、「演習」のポイントは、概ね高い。「講義」については、2ポイント台から4ポイント台後半へと不均衡に分布している。

2-2. 学科別傾向分析 別紙資料:P5~9、P12~13

《全体概要》各学科前年度とほぼ同水準。ただし、2P 台が見られる学科もある

【日本語日本文学科(日本語日本文学コース)】

サンプル数が演習・講義ともそれぞれ 20 程度と少ないが、演習、講義ともに平均が 4.0P 以上と高くなっている

【日本語日本文学科(書道コース)】

サンプル数が少ないが、演習の平均は 4.8P と高い値で前年度と同水準。

講義は 4.0P で、前年度から少し低下した

【歴史学科】

演習の平均は、4.4P で前年度と同水準。講義は前年度の2P 台がなくなり、0.2P 上昇した

【文化財学科】

サンプル数が少ないが、演習、講義ともに 3.5P以上に分布している

【児童教育学科】

演習で2P 台があるものの、平均は 4.4P と高い。講義は前年度同期の2P 台がなくなった。

【英語コミュニケーション学科】

演習・講義ともに前年度同期にあった2P 台がなくなり、4.0P以上にほとんどが分布している

【現代マネジメント学科(現代マネジメントコース)】

演習・講義ともに全体的に 3.5P 以上にあるものの、講義で 2P 台の科目が 4 つある

【現代マネジメント学科(救急救命コース)】

サンプル数が少ないが、演習・講義ともに 3.0P 後半以上に分布。

演習・講義の平均いずれも前年度同期より、0.1P 上昇

【都市環境デザイン学科】

演習・講義ともに 3.5P～4.5P 台に集中して分布しているが、講義で 2P 台の科目が 2 つある

【看護学科】

演習・講義のいずれも 4.0P 以上の高い値に分布しているが、講義で 2P 台の科目が 1 つある

2-3. 外部委託科目の結果

2-2-1. 「ベーシックスキル英語」集計結果 別紙資料:P10

① 2011 年度前期における事業者(ECC)と本学専任・非常勤教員との比較

全体的に事業者派遣教員のポイントが高い。「学習目標」「授業外学習」「将来」の項目において差が見られる。

② 3 年間の傾向比較

大きな変動はない。「改善」「触発」「学習意欲」「自主学習」において少しポイントが低い傾向にある。

2-2-2. 「ベーシックスキル情報」集計結果 別紙資料:P10

① 2011 年度前期における事業者(ワークアカデミー、富士 FOM)と本学専任・非常勤教員との比較

全体的に事業者派遣教員のポイントが高い。特に富士通 FOM に関しては、各項目でのポイントが高く、特に「自主学習」において差が大きくなっている。

② 3 年間の傾向比較

大きな変動はない。ワークアカデミーについては、「配慮」「授業外学習」「理解」「興味」「触発」「自主学習」において、富士通 FOM については、「自主学習」においてポイントが 3 ポイント台である。

2-4. 「総合」項目と他の項目との相関関係 別紙資料:P11

《全体概要》全体の項目において、「総合」項目との相関関係が強くなってきている。ただし、実習・実技以外では「私語・環境」「出席」「自主学習」においては、相関関係が少し弱い。

【講 義】

全体的に相関関係が強くなっている。前年度比ですべての項目で相関係数が上がっている。ただし「私語・環境」「出席」「学習意欲」「自主学習」に関しては相関が少し弱い。

【演 習】

全体的に相関関係が強くなっている。「出席」以外すべての項目でポイントが上昇。

【語 学】

全体的に相関関係が少し弱くなったものの、高いポイント。「意欲」「配慮」「触発」「自主学習」以外の項目においてポイントが低下。

【実習・実技】

全体的に相関関係が強まる傾向にある。前年度比でも「意欲」「将来」以外の項目すべてで上昇または同ポイント。

2-5. 科目・学科・学部別集計分析

2-5-1. 科目・学科別集計 別紙資料:P12-13

《全体概要》

- ・全体では前年度より0.02P 上昇。「自由学習領域」「ベーシックスキル(外国語)」「日語日文」「院看護」において、全体的にポイントが低下傾向にある。
- ・全体としてポイントは高いものの、「自主学習」においては3P 台前半が多い。

2-5-2. 学科・ゼミ別集計 別紙資料:P14-17

《全体概要》

- ・総合では1~4回生すべて4P 台と高い。前年度比で、1, 2回生の演習においてはポイントが上昇しているが、3, 4回生の演習においては低下している。
- ・「自主学習」はその他の項目に比してポイントが低い傾向にあるが、1~4回生へと上がっていくにつれて、ポイントも徐々に上昇していく。

3. 基本データ

3-1. 基本データ

従来の基本データ6項目(①科目名②クラス③学部(院)・学科④回生⑤コース⑥科目コード)は、OMR用紙より削除したが、科目名・クラス、担当者についての記入欄を残している。

3-2. 授業についての選択項目

下表の16項目について [1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もっともよくあてはまると思うもの一つのみマークさせた。質問の意図を明確に理解させるために、各項目に[明瞭]などのようにキーワードを設定した。

[A. 教員の授業方法について]	
①教員は、指示や授業内容の説明を、はっきりと聞き取りやすく行った。	[明瞭]
②教員は、この授業の学習目標をわかりやすく示していた。	[学習目標]
③教員は、十分な準備を行い意欲的に授業を進めた。	[意欲]
④教員は、学生が自主的に質問や意見を述べられるよう配慮していた。	[配慮]
⑤教員は、授業外での学習方法(資料・課題など)を示していた。	[授業外学習]
⑥教員は、授業を妨害する私語等を少なくするよう環境を保っていた。	[私語・環境]
⑦この授業の内容は、将来役に立つものであったと思う。	[将来]
⑧この授業で感じた授業方法の問題点は、授業期間中に改善された。	[改善]
[B. あなたの理解状況について]	
⑨私は、この授業で学んだ内容をよく理解することができた。	[理解]
⑩私は、この授業の内容に興味・関心を持つことができた。	[興味]
⑪私は、この授業から新たな問題意識や知的好奇心を刺激されることが多かった。	[触発]
[C. あなたの授業態度について]	
⑫私は、この授業にまじめに出席した。	[出席]
⑬私は、この授業に関して教員の指示に従い熱心に勉強した。	[学習意欲]
⑭私は、教員からの指示以外に、自主的に学習して取り組んだ。	[自主学習]
[D. 総合・その他]	
⑮この授業は総合的にみて、良い授業だったと思いますか。	[総合]
⑯☆各担当教員の自由設定項目	[自由]

3-3. 授業についての自由記述項目

上記 16 項目への選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の 4 つの質問を設定した。

- ① この授業のどの点がよかったですか。
- ② この授業のどの点がよくなかったですか。
- ③ よくなかった点を改善するためにはどうしたらよいと思いますか。
- ④ その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

3-4. 回収・集計方法

(回収) 以下の方法で回収を依頼した。

- ① アンケート用紙の配布は封筒で行う。
- ② 授業内での回収については、基本的に、学生自身がアンケート用紙を封筒へ直接入れるように科目担当者が指示する。その際、回収封筒の場所を指示するか、または教室内に封筒を回す。そのほかクラスサイズが大きい場合、適宜、列の一番後ろの学生が回収を行うなどして、学生が直接封筒へ入れるよう指示する。
- ③ その際、出席者すべて回収が終わるまで教室から出ないよう指示をする。
- ④ 提出については、授業終了後、授業担当者が持参して提出する。

(集計) 回収した封筒について、大学で集約し、処理事業者へ渡す。授業についての選択項目を機械(OMR)で読みとり、読みとり時に[とてもあてはまる]を 5 点、[まあそう思う]を 4 点、[どちらともいえない]を 3 点、[あまりそう思わない]を 2 点、[全くそう思わない]を 1 点に置き換え、各種分析をおこなっている。授業についての自由記述項目については集計や統計処理は一切おこなっていない。集計後、授業担当教員に担当科目のアンケート結果へのコメントや受講者へのメッセージを依頼した。

3-5. 回答者のプロフィール

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

※今年度より学科・回生・コース別のマーク欄を OMR より削除したため、回生別と所属別の回収率は算出されていない。

【回収率】 11 前期

	全受講登録者
登録者数	30469
有効回収数	23721
有効回収率	77.85%

(参考:10 前期 78.28% 後期 76.39% 09 前期 77.72% 後期 74.89% 08 前期/77.66% 後期/74.89%)

* (有効回答数) = (登録者数) - (欠席者)

* (有効回収率) = (有効回答数) / (登録者数)

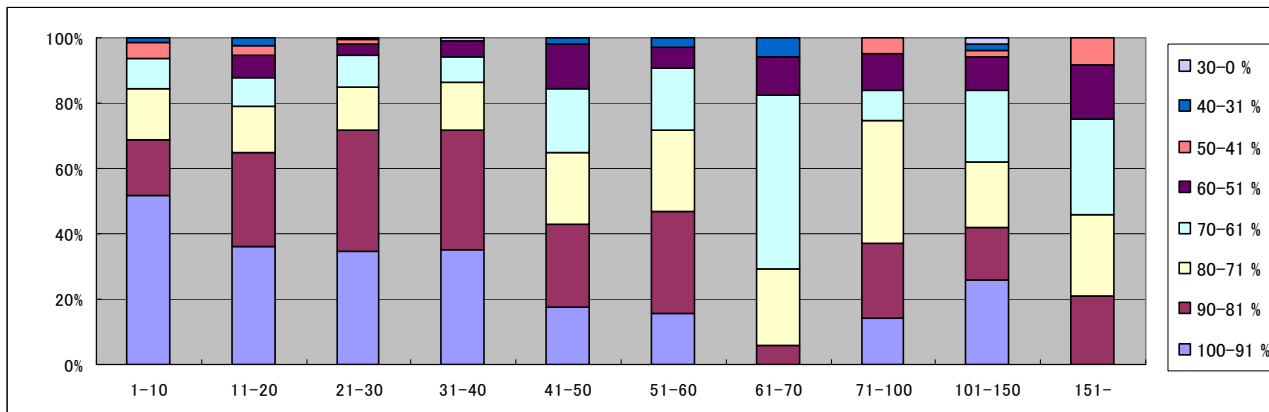
* 2006 年度以降は、以下のように集計方法を改善したため、回収データ中の無効(不明)データはゼロ。

1) 読みとり方式を OCR から OMR に変更し読み取り精度を高めた。

2) 科目コードと所属を、科目ごとに袋で管理した。

【クラスサイズ別回収率】

回収率 \ 度数	100-91 %	90-81 %	80-71 %	70-61 %	60-51 %	50-41 %	40-31 %	30-0 %	合計
1-10	33	11	10	6		3	1		64
11-20	56	45	22	14	11	4	4		156
21-30	60	64	23	17	6	2		1	173
31-40	41	42	17	9	6			1	116
41-50	9	13	11	10	7		1		51
51-60	5	10	8	6	2		1		32
61-70		1	4	9	2		1		17
71-100	6	10	16	4	5	2			43
101-150	13	8	10	11	5	1	1	1	50
151-		5	6	7	4	2			24
合計	223	209	127	93	48	14	9	3	726



3-6. 教員による⑩自由設定項目の利用状況

利用率 2.1%

17 科目 / 794 科目 (自由設定項目の利用科目数 / アンケート実施全科目数)

* 10 前期 4.8% 後期 3.6% 09 前期 4.0% 後期 2.9% 08 前期 5.6% 後期 8.2%

以上